

レザークラフトの未来へ wajii 産学の取り組み

社会とのつながりを主軸とした実践的な講座がある。夢を持つことの大切さとそれを実現するためのノウハウ、また夢をかなえる厳しさも教えてくれる。若者たちに託す未来は、明るい。人物写真・文・Takemasa



今回のクラウドファンディングサイトを運営するCreema SPRINGSの高島氏(右)と、プログラムをプロデュースするwajiiの菅野氏(左)。



3班はwajiiのaonecoシリーズをベースに上質な革を使ったスライド式ミラーを提案。コンセプトやギミックを練り上げた小さい中にもアイデアの詰まった製品だ。



今回は様々な学生を4つのグループに分けて製品を製作する。1班の発表の様態。商品は、モノ・マガジンでもお馴染みのハリクタをベースに革やデザインに、アレンジを加えたシューズ。



4班が提案するのは、ネコ型マウスパッド。本体とリボン部分の配色に気を遣い、派手過ぎず、渋過ぎず、それでいて目につくよう考えられている。



基本的に各班、高校生と大学生の混成チーム。協力合って、商品開発をする。wajiiのスタイルを踏襲したデザインのレザーバッグ&ポーチを製作。

学

生時代にこんな授業があったら、人生が変わっていたかもしれない……。株式会社イノベストが企画したリーダーシップチャレンジという、育成プログラムをモノづくり集団「wajii」の代表である菅野裕樹氏が講師を務める。なんと1年間を通して学生たちにモノ作りから販売まで、レザーアイテムを主としたビジネスのノウハウを教えているのだ。これは堺市桃山学院大学などが中心となって、産官学が未来を背負う若者たちに、モノづくりの面白さ、難しさなどを経験してもらおうのが目的で始まったプログラム。菅野氏はモノづくりに関してはもちろんプロ中のプロ。しかし才能はそれだけではなく、マーケティングやブランディングにも長けている。その手腕を見込まれて、今回白羽の矢が立った。まずはどのようなものが作りたいのか……からはじまり、最終的には自分たちが産み出した製品を、クラウドファンディングで支援を受け、数字として実際にどうだったのか評価するという、ある意味シビアでやりがいのあるプログラムなのだ。今回クラウドファンディング大手サイトのCreema SPRINGSにて支援を行うことが決定。下記Creema SPRINGSのURLから検索、学生たちの新しい考えや発想を楽しみにぜひ参加して欲しい。